

経済学委員会分科会の設置について

分科会等名： 数量的経済・政策分析分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	経済学委員会
2	委員の構成	18名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	わが国の政策議論において、一般社会やマスコミでは、客観的データに基づかない主張が横行しており、政府の政策立案においても必ずしも客観性が担保されていないものが見受けられる。このような状況は結果的に国民の利益を損なう危険が大きい。正しい事実認識に基づくエビデンス・ベース・ポリシー・メイキング(EBPM)を根付かせるためには、データを用いて科学的な根拠に裏づけされた方法で実証分析を行い、それに基づく政策提案・評価ができる人材が必要である。そうした人材を育成し、事実・データに基づく経済・政策の議論を世の中に浸透させることは、経済学委員会のひとつの重要な役割と考えられる。そのためのデータ開示を促進すると共に、その分析手法や分析結果を広く学会や社会に伝え、人材育成に資することを本分科会の目的とする。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学会における応用計量経済分析者および手法開発者を対象としたチュートリアルセッションの開催</li> <li>2. 計量・統計理論のシンポジウム等の開催</li> <li>3. 実際に実証分析を行う上で必要となる政府統計、民間統計の利用環境の改善</li> <li>4. EBPMの社会実装に向けた取り組みなどに関して政策提言に向けた審議を行う。</li> </ol>
5	設置期間	令和2年11月26日～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続